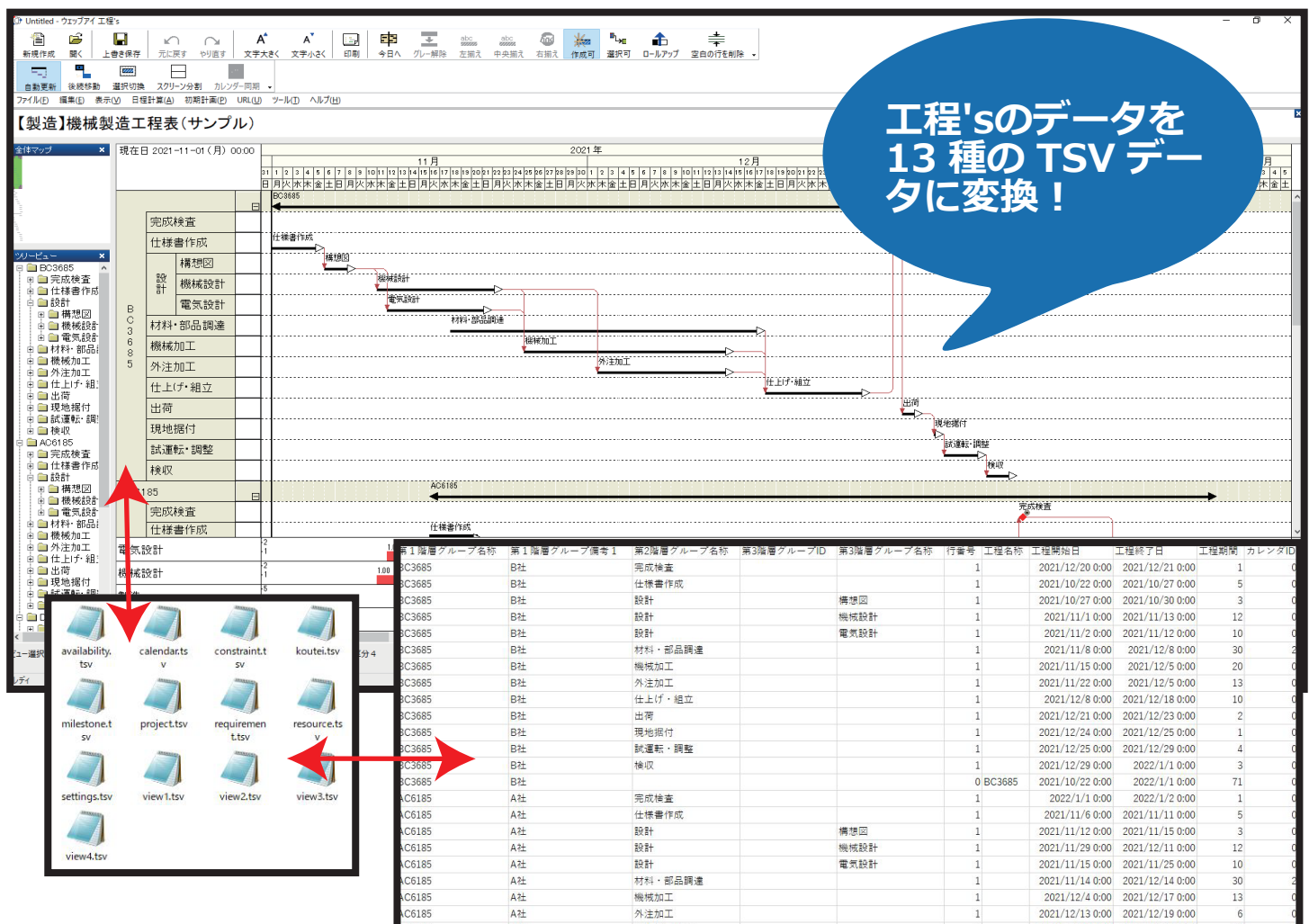




工程's用 外部システム連携ツール

TransportOrario -TSV- 3.1

工程'sの主要データを汎用的な TSV 形式で一気に入出力！
外部システムとの柔軟な連携を実現します。



汎用性の高い
TSV 形式

自動化の実現

多彩な補助
ツール

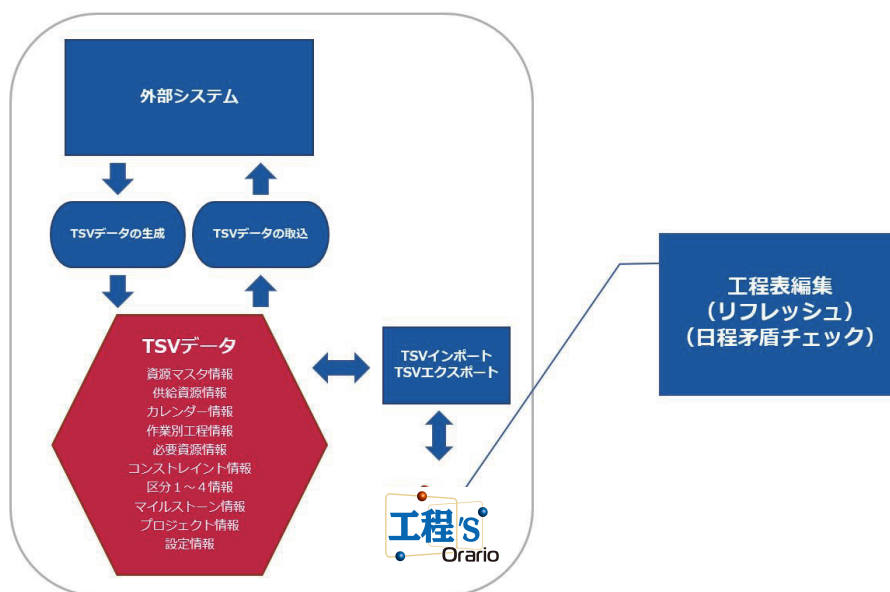
TransportOrario -TSV- とは

TransportOrario -TSV- は工程'sと外部システムを連携するためのアドオンツールを含んだパッケージ製品です。
汎用性の高い TSV 形式で様々な外部システムと柔軟なデータ連携を行い、ハイレベルなプロジェクト管理を実現します。

主な利用シーン

- 外部システムから定期的に出力されるデータを工程'sに自動的に取り込み、工程's上で計画管理を実施
- 他システムで作成した工程データを TSV 形式に加工して工程'sのデータに一括変換

システムイメージ



活用事例

■ 製造業での事例

製品番号、部品、仕様等のデジタル情報を TSV 連携し工程's 工程表へ変換。

今まで一覧表だった情報を見える化し、生産管理システムとの連動を行うことで、日々の製番情報の更新を行い、現場の資源割り付けを素早く行うことができるようになりました。

■ 造船関連での事例

定盤計画を行う場合、定盤区画のある工程データ入力を工程'sで行い、データを外部ツール（変換処理）にエクスポートして定盤計画を実施し、その結果を工程'sにインポートし工程表の形で表現することを実現しています。

データの入出力

TSV インポート・TSV エクスポートは、工程'sのデータを工程情報、コストレイント情報、カレンダー情報といった計 13 種類の TSV ファイルで入出力することができます。

TSV 形式のファイルを他システムに入力することで工程'sと他システム間のデータ連携を可能とします。

TSV の形式は加工が容易であるため、利用シーンに合わせて柔軟な運用が可能です。

自動化にも対応

TSV インポート・TSV エクスポートは、インポート及びエクスポートをコマンドラインから実行することができます。Windows の標準機能であるタスクスケジューラなどと組み合わせることで、工程'sと他システム間におけるデータの入出力を自動化できます。

多彩な付属ツール

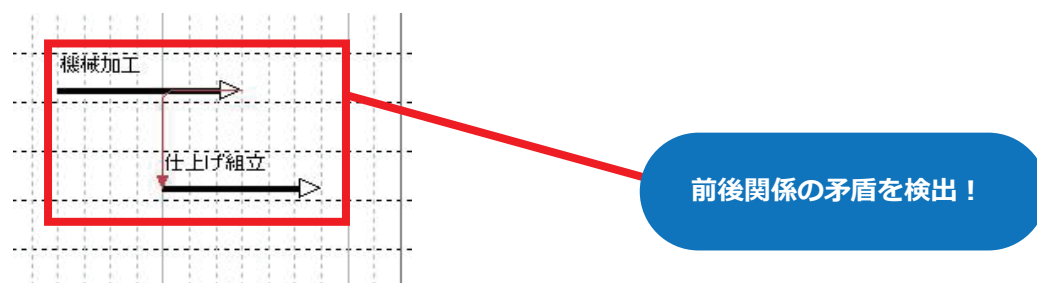
TransportOrario-TSV には、インポートデータを工程's上で編集する際に活用できるツールが付属します。

■リフレッシュ

インポート時に工程期間の重複により増えた行に対して、編集状態に応じて作業バーの再配置を行うことで工程表を整理します。配置を整理することにより、より見やすい工程表を作成することができます。

■日程矛盾チェック

コンストレイント（関係性）で結ばれている作業バーの日付に矛盾があるものを検出します。他システムから取込を行った工程情報、また他システムに出力する工程情報に矛盾がないか確認を行うことができます。



動作環境

■オペレーティングシステム

Windows10[64bit]

Windows11[64bit]

■ソフトウェア

.NET Framework 4.7.2 以降

PDFリーダー

■ハードウェア

上記オペレーティングシステムが動作する環境

■関連製品

工程's15以降

マニュアル・ファイルレイアウト一覧のダウンロードはこちらから！

https://depot.webi.co.jp/products/transportorariotsv/transportorariotsv_documents.zip



株式会社ウェブアイ

〒135-8071 東京都江東区有明 3-6-11

東京ファッションタウンビル 東館 9F

TEL : 03-3570-2391 FAX : 03-3570-2393

<https://www.webi.co.jp/>

工程's (R) および TransportOrario (R) は株式会社ウェブアイの登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows8.1,10 は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
本カタログに記載されている内容は予告なく変更される場合があります。